

デジタルアーカイブ産学官フォーラム（第5回）  
コロナがもたらしたもの  
～withコロナで加速する  
デジタルアーカイブ～

(大久保ゆう／翻訳家・青空文庫)

第2部（パネルディスカッション） 15:00-17:30  
2022.1.26@オンライン

# 青空文庫とは

1997年創設の  
ボランティア主体の  
デジタルアーカイヴ  
約17000の電子テキスト  
(パブリックドメイン含む)



現在 年間500～600作品の新規公開  
年間1000万以上の作品ページビュー

# 青空文庫とは

「本を電子化して  
**誰でも読める**ように  
 しておくとおもしろい」  
 「青空という**自由な本棚**  
 に集める」



青空文庫：社会の公共物としての書架と蔵書  
 → パブリックドメインの代名詞にも

# 青空文庫とは

平時の入館数

1日 8万~11万ほど

初回ステイホーム期間中

1日**20万**の入館者数達成



その後も2回目・3回目の緊急事態宣言中にも増加  
同時に「問い合わせ」も急激に増えたが……

## ナレーター・声優・VTuberが読む青空文庫

- ・ 声のエンタメとしての朗読配信  
 気軽に使える朗読用の  
 ソースとして青空文庫の活用

- ・ 昔から朗読配信自体はあったが  
 VTuber拡大期である  
 2018年頃から増加傾向



ステイホーム中にさらに増え……



「一般社団法人 青空朗読」



YouTubeチャンネル「ねむり屋のらいむぎ」

# ナレーター・声優・VTuberが読む青空文庫

おうち生活の需要に応じて  
青空文庫へ問い合わせ急増



急遽ガイドラインを設けることに  
その有効活用として

声優さんたちが自発的に  
呼びかけて行われた  
「#せいゆうろうどくかい」



青空文庫収録ファイルの朗読配信について

ただいま朗読利用や朗読配信についてのお問い合わせを数多く受けておりますが、青空文庫は限られたボランティアで運営しているため、現状なかなかひとつひとつ丁寧なお返事を差し上げることができません。そこで、恐縮ながらこのページのお知らせをもって回答に代えさせていただきます。

Q：青空文庫にある作品を朗読したいのですが……

A：「[青空文庫収録ファイルの取り扱い規準](https://www.aozora.gr.jp/guide/kijyun.html)」(<https://www.aozora.gr.jp/guide/kijyun.html>)に従って、どうぞご利用ください。

「[青空文庫FAQ](https://www.aozora.gr.jp/guide/aozora_bunko_faq.html#midashi1060)」([https://www.aozora.gr.jp/guide/aozora\\_bunko\\_faq.html#midashi1060](https://www.aozora.gr.jp/guide/aozora_bunko_faq.html#midashi1060))より



#せいゆうろうどくかい

## パネルディスカッション

- ✓ 広場：自由に触れ合える
- ✓ 素材：自由に活用できる
- ✓ 実験室：自由に試せる

## 青空文庫の公開スケジュール

- ・ 現在 およそ半数強の作品は  
当該作家の誕生日・命日に公開されている  
(2015年後半からの試み)
- ・ 「**文学忌**」  
作家の命日を偲んで各地でイベントなど  
本人の作品や特徴的な言葉で呼ぶことも  
「石榴忌」「檸檬忌」「蝸牛忌」(季語にも)



## 「文豪」の誕生日と文学忌

- ・ SNS時代では特に、  
誕生日と文学忌が盛り上がりやすい

### 「文豪」というテキスト共同体

- ・ 固有名詞を軸に集まる多種多様なテキストと  
その解釈と生産を続ける人々の共同体

## 「文豪」共同体のサイクルと拡散

- ・ ファンの入力校正した作品を  
そのファンがいちばん**盛り上がる**日に
- ・ 文学忌当日は、多種イベントのツイートや  
感想などをいつも以上に互いに**拡散させる**
- ・ 作家の数だけあるので日々が**文学の祝祭**になる

## 青空文庫の発展的活用について

- VR空間に構築された青空文庫  
(例：VRChat内 配信可能エリア「草原の図書館」)

## VR空間における青空文庫

- アセットが制作されていて自作の空間に設置可能  
(スズ製作所「青空文庫システム」)

## 大事なポイント

本を電子化して、単に「見せる」  
「公開する」だけでなく  
「**共有可能**」「**利用可能**」しておくと面白い



「電子本を共有することで、**何が**面白くなるのか」  
「電子本を共有することで、**世界のどこが**変わるのか」  
を考えて**パブリックリレーション**を築いていく